



ちひろの旅物語

5月13日(金)～7月12日(火)

絵を描くことの次に旅が好きだと語ったちひろは、折に触れ、家族や友人とともに国内外の旅行を楽しみました。ちひろにとって、旅は心休まるときであると同時に、制作への意欲を育む時間でもありました。

本展では、旅先での風景が生かされた絵本『あかいふうせん』『あかまんまとうげ』などの作品を、各地で描かれたスケッチとともに展示。ちひろが巡った旅の足跡と、絵本創作との結びつきを紹介します。

画家ちひろを大きく成長させた、ヨーロッパの旅を紹介

1966年、47歳のちひろは、約1ヶ月にわたり、ヨーロッパ各国を旅行しました。この旅で、100点を超えるスケッチを描いたちひろ。その後の欧州を舞台とした絵本は、一層のリアリティーと臨場感を増していきました。アンデルセン童話の絵本『絵のない絵本』やフランス映画を絵本化した『あかいふうせん』などを展示し、ちひろの創作の礎となった旅を紹介します。

ちひろの心のふるさと、信州・安曇野の作品を展示

両親の生まれ故郷で自身も子どものころから親しんだ信州を、「本当の故郷」と語っていたちひろ。絵本『あかまんまとうげ』や『花の童話集』など、長野県・黒姫高原の山荘で生まれた絵本をはじめ、北アルプスの山並や松川村での両親の生活を描いたスケッチなどを展示し、ちひろが生涯にわたって描いた心の原風景・信州を紹介します。



I-1, 海を見つめる少女 (1973年)

展覧会名：ちひろの旅物語

会期：2011年5月13日(金)～7月12日(火)

○開館時間＝9：00～17：00

○休館日＝第2・4水曜日－5月25日(水)・6月8日(水)・6月22日(水)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料

主催：安曇野ちひろ美術館

展示品数：約70点

主な出展作品：スペインの道端(1966年)、海を見つめる少女(1973年)、スケッチ オーデンセ アンデルセンの家(1966年)、絵本『にんぎょひめ』(1967年)、絵本『あかまんまとうげ』(1972年)他



I-2, わらびを持つ少女『あかまんまとうげ』より(1972年)

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当者が作品の見どころなどをお話します。

日時：2011年5月14日(土)、5月28日(土)、6月11日(土)、6月25日(土)、7月9日(土)

いずれも14：00～14：20

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料(入館料のみ) 対象：参加自由

「ちひろの旅物語」スライドトーク

スライドを使って展示解説を行います。

日時：2011年6月5日(日) 14：00～14：30

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

料金：無料(入館料のみ) 対象：参加自由



I-3, 風船と街へ出るバスカル『あかいふうせん』より(1968年)

安曇野ちひろ美術館

<http://www.chihiro.jp/>

お問い合わせ

安曇野ちひろ美術館 広報担当 入口・屋代・阿部

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774

E-mail:apublicity@chihiro.or.jp



INFORMATION

工芸の五月 2011 「子どものための工芸」展

2011年5月13日(金)～6月7日(火)
開館時間=9:00～17:00 休館日=5月25日(水)

子どもに本物のよさを伝えていきたい— 金工、木工、布、ガラス、漆器、陶器、アクセサリ、再生紙など、現在活躍中の工芸作家が子どものためにつくった作品を展示、販売します。5月22日(日)・29日(日)には、作家とともに、親子で楽しめるワークショップを開催します。

会場：安曇野ちひろ美術館 料金：無料(入館料別、ワークショップ参加費を除く)
出展作家：相原清子(金工)・磯敦子(布)・小美濃厚夫(木工)・金井香里(ガラス)・小林裕爾(木工)・佐藤綾子(漆器)・杉野葵(アクセサリ)・萩原千春(陶器)・森友見子(再生紙)など


関連イベント： **ワークショップを開催します。** 要申込、要参加費。大人だけの参加も可、入館料別途。




ガラガラを持つあかちゃん、1968年



5/22 (日) 「再生紙でつくるモビール」 講師：森友見子
10:00～16:00 定員：20組40名 参加費：1000円



5/29 (日) 「ふわふわ綿のいとつむぎ」 講師：磯敦子
9:30～12:00 / 13:00～15:30 定員：各回10組20名 参加費：800円




ファーストセット(小林裕爾)


工芸の五月について：毎年五月、長野県・松本市を中心に、美術館、博物館、クラフトフェアなど50の会場で工芸の企画展が開かれています。 <http://matsumoto-crafts-month.com/>

2011 初夏 その他のイベントなど

『窓ぎわのトットちゃん』30周年を記念して、トットちゃんグッズを新発売!!

- トットちゃんTシャツ (1785～2415円)
- トットちゃんクリアファイル (378円)
- トットちゃんポストカード (105円)

これらの商品の売上の一部は、黒柳徹子ユニセフ親善大使を通じて、もともめぐまれない子どもたちのために使われます。



● 韓国の絵本画家のグループが松川村へ

5月22日(日)～24日(火)、パク・チョルミンさんと画家仲間が、今年も松川村にお越しになります。松川村の有志の方や子どもたちとの交流会を予定しています。



● チェコ在住の絵本画家・出久根育さんが来館します。

開催中の企画展「東欧と日本を結ぶ 色と線の幻想世界 ドウシャン・カーライ×出久根育」にあわせて、現在最も活躍する日本人絵本画家のひとりである出久根育さんが、安曇野ちひろ美術館に来館する予定です。(五月上旬、日程詳細未定。)



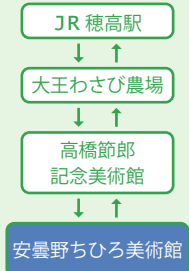
出久根育『マーシャと白い鳥』より 2005年

あづみ野周遊バスに4月16日(土)より安曇野ちひろ美術館ルートが増設されました。

★運行期間

4月 16・17・23・24・29・30日
5月 1～5・7・8・14・15・21・22・28・29日
6月 4・5・11・12・18・19・25・26日
7月 2・3・9・10・16～31日
8月 1～28日
9月 3・4・10・11・17～25日
10月 1・2・8～10・15・16・22・23・29・30日

★バス運行図



★上記日は1日4便が運行されます。

★全区間フリー乗降(大人500円、小人300円で乗り降りが自由)。

★運行時間などは安曇野市観光協会 <http://www.azumino-e-tabi.net>へ。

● おはなしの会

絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみいただけます。

日時：2011年5月14日(土)、5月28日(土)、6月11日(土)、6月25日(土)、7月9日(土) いずれも11:00～

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋
料金：無料(入館料のみ) 対象：参加自由



撮影：橋本裕貴



II-1, アクロバット (1932-33年頃)

<企画展>

茂田井武の世界旅行

5月13日(金)～7月12日(火)



戦中から戦後の混乱期に子どもの本の世界で活躍した茂田井武。1930年、21歳だった茂田井は、写生旅行と称してシベリア鉄道でパリへと向かいます。異国の地で市井の人々と哀歓を共にした日々を、茂田井は、絵日記のように画帳に描きとめました。帰国後も、旅の印象は繰り返し描き出され、数々のエッセイも記されています。茂田井にとって、青春時代のこの旅は、切なくも輝かしい、生涯消えることのない大切な記憶でした。

2009年、茂田井武の遺作約770点が当館に寄贈されました。本展では、1930年代のパリで描かれた画帳『Parisの破片』など3冊の画帳の他、過ぎた日の旅の印象をまとめた『古い旅の絵本』などを展示し、友人からボヘミアンと呼ばれた茂田井の“旅”を紹介します。

展覧会の見どころ：1930年代、パリ。一人の日本人画家の心に映った光景が、鮮やかに甦る。

— 汽車が巴里から遠ざかると共に、記憶の中にそれが澁刺^{はつらつ}と生きはじめた (茂田井武 1935年頃)

茂田井武が、鞆ひとつで単身パリへ旅立ったのは21歳の時。美術学校へは入らず、ルーヴルにも一度足を運んだきり。食堂で働きながら、庶民生活のささやかな喜びや哀しみを見つめ、日常のなかで脳裏に焼きついた情景を画帳に描きためて、1933年に帰国するまでヨーロッパでの時を過ごしました。

本展覧会では、茂田井武の創作活動の出発点から晩年までの作品とその人生を、“旅”をテーマにたどりませう。欧州滞在中の希少な3冊の画帳『ton paris』(大川美術館蔵)、『続・白い十字架』(個人蔵)、『Parisの破片』をはじめとした旅路の印象を描いた作品や、日記、エッセイ、手作り絵本などもあわせて紹介します。

没後半世紀を越えてなお、今に生きる茂田井の世界

自分の内側に息づく記憶や、夢で見た光景、生き生きとした子どもの世界を、深く澄んだまなざしで見つめ、おびたしい数の作品に描いた茂田井武。その絵のなかには、あたたかなユーモアと、純粹で無限の広がりを持つ魂が、今も息づいています。

近年再び評価が高まる、時を超えた魅力を持った茂田井作品の数々をご覧ください。

展覧会名： <企画展> 茂田井武の世界旅行

会期： 2011年5月13日(金)～7月12日(火)

○開館時間＝9:00～17:00

○休館日＝第2・4水曜日ー5月25日(水)・6月8日(水)・6月22日(水)

会場： 安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金： 大人800円／高校生以下無料

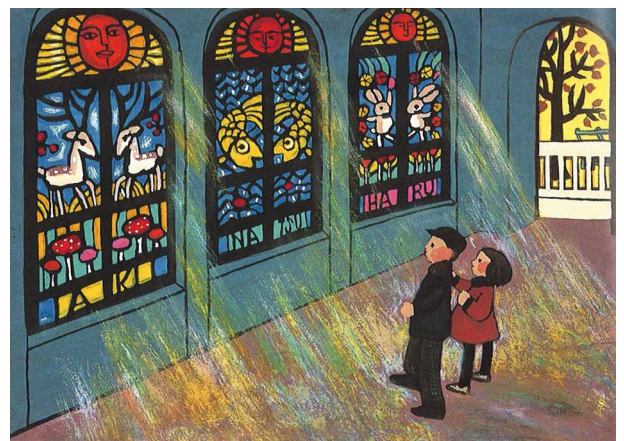
※団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き

※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料

※視覚障害のある方は無料

主催： 安曇野ちひろ美術館

協力： 財団法人大川美術館



II-2, すてんどぐらす「キンダーブック」1954年11月号(1954年)

画家プロフィール：



茂田井武 Takeshi Motai

日本 1908～1956

東京・日本橋の大きな旅館に生まれる。1923年関東大震災で生家が全焼。中学卒業後、太平洋画会研究所、川端画学校などで絵を学ぶ。たわらアテネ・フランスに通う。1930年博多から京城、ハルピンを経由してシベリア鉄道で渡仏。パリの日本人会で働きながら独学で絵を描き、水彩の画帳、絵日記などを記す。1933年に帰国。職を転々とした後、成人雑誌の挿し絵を描く。1944年、北支派遣軍に招集され入隊。1945年東京大空襲で家や作品を焼失、北京で終戦を迎える。1946年復員。独学で絵を描き、戦後日本の復興とともに創刊された児童雑誌や童話、絵本の仕事で活躍。1954年絵雑誌『キンダーブック』の仕事に対し小学館児童出版文化賞受賞。48歳で亡くなるまで病床で絵を描き続けた。

戦後の出版美術界に大きな足跡を残し、影響を与えた。

展示品数：約70点(予定)

主な出展作品：<欧州の旅>「すてんどぐらす」(1954年)、画帳『ton paris』より約20点(1930-33年 大川美術館蔵)、画帳『続・白い十字架』より約10点(1931-35年 個人蔵)、画帳『Parisの破片』(1930年頃-35年頃)、『古い旅の絵本』(1944年)
<中国の旅>「広州鴛鴦」(1940年代後半)、画帳『無精画帳』(1938年頃-40年)
<夢の世界旅行>絵物語『夢の絵本』(1948年) 他

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当者が作品の見どころなどをお話します。

日時：5月14日(土)、5月28日(土)、6月11日(土)、
6月25日(土)、7月9日(土)

いずれも14:30～14:50

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金：無料(入館料のみ) 対象：参加自由

茂田井武の幻灯会とミニトーク

あたたかく懐かしさを感じさせる『ドリトル先生アフリカへゆく』のスライドを、茂田井武の次女である後藤暦さんの朗読とともに上映。茂田井と旅にまつわるミニトークも行います(詳細は、変更の可能性あり)。

日時：2011年6月4日(土) 15:00～16:30

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

料金：500円(お茶つき。展示をご覧になる場合、入館料別)

定員：40名 講師：後藤暦(茂田井武・次女)

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用申込書」をご覧ください。

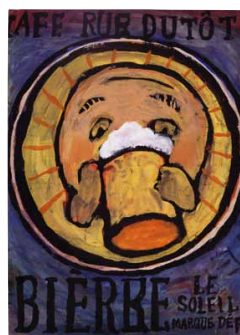
※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※トリミングや文字が絵にかぶるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



II-3, 化粧をし外出するマダム 画帳『Parisの破片』より(1930年頃-35年頃)



II-4, ビールを飲む太陽(1950年頃)



II-5, 手作り絵本『巴里の子供』より(1946年)



II-6, 荒物屋 画帳『ton paris』より(1930-33年、大川美術館蔵)



II-7, 『古い旅の絵本』より(1944年)



II-8, サルンに日本の人々集まる 画帳『ton paris』より(1930-33年、大川美術館蔵)

同時開催：大川美術館にて、「トン・パリ」が展示されます。 ※同じ『ton paris』から、当館企画展とは異なる場面が展示されます。

会期：2011年4月5日(火)～6月26日(日)(※会期変更の可能性もあり) 会場：大川美術館 作家特集展示室 展示品数：約20点(予定)

お問い合わせは、財団法人大川美術館(〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町3-69 Te1.0277-46-3300 <http://www.kiryu.co.jp/ohkawamuseum/>)へ。

安曇野ちひろ美術館 2/2

<http://www.chihiro.jp/>

お問い合わせ

安曇野ちひろ美術館 広報担当 入口・屋代・阿部
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.jp